

議員団 ニュース

日本共産党平塚市議会議員団

電話 0463-23-1111 (内線 2375)

平塚市浅間町9-1 平塚市議会控室

No. 1346 2016年 2月21日発行

日本共産党平塚市議会議員団

団長 高山和義

電話・fax 31-4638

k.takayama@mb.scn-net.ne.jp

渡辺敏光

電話・fax 31-6431

w-toshi@agate.plala.or.jp

松本敏子

電話・fax 59-4607

mail@matsumoto-toshiko.jp

日本共産党議員団の法律相談

今回は 3月17(木)です

午後4時～6時 (要予約)

平塚市議会3月定例会の日程について

平塚市議会の3月定例会の日程が以下のように決定されましたのでお知らせいたします。ぜひ傍聴においでください。

月 日	曜日	会議予定
2月18日	木	本会議初日(決算平成27年度各会計補正予算等提案・討論・表決、施政方針及び平成28年度予算・議案提案) 議会運営委員会
2月29日	月	本会議第2日(代表質問①) ※請願締め切り
3月 1日	火	本会議第3日(代表質問②・総括質問①)
2日	水	本会議第4日(総括質問②) 議会運営委員会
3日	水	本会議第5日(総括質問③)
7日	月	総務経済常任委員会
8日	火	都市建設常任委員会
9日	水	教育民政常任委員会
10日	木	環境厚生常任委員会
17日	木	議会運営委員会 本会議最終日(委員長報告、討論、表決) 本会議後、議会活性化委員会及び議会報編集委員会

※日本共産党平塚市議会議員団の代表質問は、1日(火)に高山和義議員が、2日(水)に松本敏子議員が行う予定です。質問項目等の詳細は次号でお知らせします。

※請願の締め切りは、本会議2日目2月29日(月)です。提出される団体・個人の方は午後5時までに市庁舎8階の議会事務局にお持ちください。

平塚市議会3月定例会提出議案

2月10日(水)に議会運営委員会が開催され、平塚市3月定例会市議会の議案が提案されました。3月定例会では、平成27年度の平塚市一般会計・特別会計補正予算及び平成28年度一般会計・特別会計予算並びに条例等の制定・一部改定案(31案件)の審議・表決が行われる予定です。

初日議決案件

議案第1号～11号は、本会議初日に表決されます。

○議案第1号 平塚市一般職の給与に関する条例の一部を改正する条例

国家公務員に準じて一般職員の勤勉手当支給率を年間0.1か月引き上げると共に、等級別基準職務表を条例に規定するものです。

年間 4.1月 → 4.2月

○議案第2号 議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例

議会議員に係る期末手当の支給率の引き上げを行うものです。議員団は反対しています。

年間 3.85月 → 3.95月

○議案第4号～11号

平成27年度平塚市一般会計補正予算 平成27年度平塚市特別会計補正予算

	補正予算額	平成27年度累計額
一般会計 ;	2,178,514 千円	84,353,040 千円
特別会計合計 ;	2,050,050 千円	83,698,688 千円
病院事業会計 ;	補正なし	19,785,527 千円
全会計 ;	4,228,664 千円	187,837,255 千円

平成28年度当初予算案

単位：千円

一般会計		82,250,000
特別会計	競輪事業特別会計	19,215,000
	国民健康保険	33,855,000
	水産物地方卸売市場	14,100
	介護保険	17,205,000
	後期高齢者	3,024,000
小計	73,313,100	
企業会計	病院事業会計	16,140,000
	下水道事業会計	14,190,000
	小計	30,330,000
合計	185,893,100	



土壌改良工事を進めている(仮称)港地区認定こども園建設現場。平成29年4月に供用開始の予定です。

平成28年度に新規または拡充となる予定の事業の一部を掲載します

○漁業施設維持管理事業

漁港施設の長寿命化を目的に相模川右岸導流堤の改良工事着手 予算額：100,000千円

○商店街にぎわい創出事業

中心商店街の滞留拠点づくり推進と店舗改装費補助 予算額：1,200千円 ※裏面に

※議案続き

○ツインシティ整備推進事業

土地区画整理組合への支援拡充

予算額：1,037,086千円

○ツインシティ大神地区公共下水道整備事業

大神整備地区内の公共下水道を整備

予算額：519,250千円

○小学校施設管理事業

小学校全校の図書室、音楽室に空調設備（エアコン）を設置 予算額：17,957千円

○小児医療費助成事業

小児医療費の無料化を中学3年生まで拡大

予算額：124,484千円

○母子保健事業

妊婦と胎児の健康管理を図るため妊婦健康診査の補助額を増額 予算額：24,990千円

○介護予防・生活支援サービス事業

会議保険制度の介護予防給付から、要支援者の訪問介護及び通所介護を地域ごとの多様なサービスに変更 予算額：268,346千円

○消防指令センター整備事業

大磯町、二宮町と広域共同使用するための各装置を整備 予算額：751,014千円

○橋りょう震災対策事業

緊急輸送路や幹線道路等の橋りょうの耐震補強事業 予算額：132,500千円

○公共下水道整備事業

浸水被害軽減のため総合浸水対策基本方針に基づく浸水対策事業 予算額：170,000千円

○防犯設備整備事業

自治会から移管された防犯街路灯の一括LED化推進事業 予算額：9,720千円

○景観形成推進事業

平塚駅から徒歩圏内の公共施設対象に歩行者系施設案内を設置 予算額：15,500千円

○馬入ふれあい公園施設維持管理事業

老朽化した馬入サッカー場人工芝の張替工事 予算額：188,100千円



橋りょう長寿命化補修工事が計画されている馬入本町架道橋

提案予定の条例制定・一部改定の一部

○議案第12号 平塚市行政不服審査条例

行政不服審査法の規定に基づき、市の審査会の組織及び運営その他の規定を整備

○議案第27号 平塚市のデイサービスセンターの設置及び管理等に関する条例の一部を改正する条例

4月から実施予定の介護予防・日常生活支援事業のうち通所事業実施の規定を整備

○議案第28号 平塚市国民健康保険税条例の一部を改正する条例

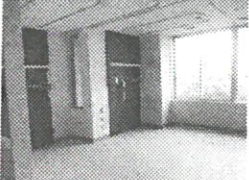
国民健康保険税の税率並びに低所得者世帯の軽減額改定の規定を整備 平均7.03%の引き上げの予定(前回平成23年に9.41%引き上げで5年ぶりの改定)

○平塚市民病院の診療費その他の費用の徴収に関する条例の一部を改正する条例

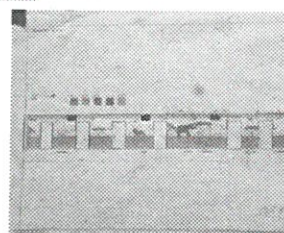
新棟の特別室・個室使用料の区分を設定



新棟；5階の天井から光の差し込む明るい受付ロビー 本年5月から受診開始予定



4個室以外は



小児科の壁には動物のイラストが

2016年度平塚市予算編成に対する

日本共産党議員団の要望 その③ 子育て(2-1)

3. 安心して子育てできる平塚に

(1) 小児医療費助成の拡充を

①小児医療費助成対象が中学3年生まで拡大することは評価する。しかし、所得制限によって、子育て中の親の収入のわずかな違いで「子育て」に大きな差が生じ、子どもの医療費に苦しむ世帯を作り出していることはかえりなくすべきあり、早急に所得制限をなくすこと。

(2) 安心して赤ちゃんを産み育てる為に

- ①妊婦健診は、健康な赤ちゃんを出産できるよう健診項目の充実を図り、助成額を全国平均に引き上げること。市内での実施の実態をつかみ誰もが14回の健診を実施できるよう努めること。
- ②妊婦歯科検診は、母体の口腔内の状態を把握し衛生に努めることで子供の発育に有効なことから、歯科検診の周知に努め今後も妊婦歯科検診を継続すること。
- ③近年、幼児のインフルエンザ予防接種の有効性が立証された。しかし、接種するには1回3,000円前後かかり、小児の場合2回接種する必要があることから、子育て世帯に大きな負担となっている。全国ではこどものインフルエンザ予防接種に補助する自治体が増えていることから、平塚市においても園児、児童生徒の学級閉鎖の防止、兄弟からの感染や重症化を避けるためにもインフルエンザ予防接種に補助を実施すること。

(3) 子ども・子育て支援新制度について

- ①市の保育方針である「認可保育園」による待機児解消を堅持・遂行すること。
- ②新たな制度の中で申請してくる事業者には十分な指導監督を施し、子どもの安心・安全を図ること。
- ③ 保育園の民営化は安易に行わないこと
- ④ 市が新たに設置する「(仮称)港地区認定こども園」開設については、保護者との懇談の場を持ち、納得いく議論を充分におこなうこと。
- ⑤ 平塚市放課後児童健全育成事業の設備できた。これによって対象児童は小学6年生までとなり、1施設の適正規模は40人以下に、職員を2名以上配置(うち1人は有資格者)することになった。この基準が早期に実現するよう、行政の十分な支援を進めること。また、障がい児の利用がある場合は、障がいの程度に合わせた職員の配置を行うこと。
- ⑥ 民間借家で運営している児童クラブは公的施設への移設を急ぐこと。公的施設に余裕がなくすぐに対応できない場合は、狭い民間借家から広い民間借家への移設も認め、実態に合わせて補助額を引き上げること。
- ⑦ 指導員・補助員の指導力向上を目指し行政として研修の充実を図ること。

ひらつか和菓子まつりが開催

和菓子職人の伝統の技が見事に

市内の和菓子店の自慢の逸品が、今年も市民プラザに集合しました。

